

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (355), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (356), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with a detailed budget table for 令和2年度 through 令和5年度.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes status indicators like '現状どおり推進' and '縮小'.

事務事業評価表（令和3年度）

Main evaluation table with sections: 1. 事業の概要 (PLAN), 2. 事業の評価 (DO+CHECK), 3. 事後評価. Includes details on project goals, budget, and performance metrics.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (362), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 2022, 2023, 2024, and 2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など), 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (363), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1384	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 社会福祉協議会事業支援 個別事業 社会福祉協議会支援事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課			
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市						
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	1人 (換算人数)		0.03人				
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	110,370千円 (うち人件費 267千円)					
			(変更後)	千円 (うち人件費 千円)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域で共に支え合えるよう、共助意識の啓発や自治会・まちづくり協議会との連携の強化など、地域の人々自らが地域福祉の担い手となるための取り組みを進めます。また、社会福祉協議会との結びつきを強化して、地域の相談窓口の役割を担う民生委員・児童委員の育成とその確保を図ります。	事業目的	社会福祉協議会への補助を行うことにより、地域ぐるみの福祉サービス提供・推進体制を充実させる。						
(3) 事業内容	内容	社会福祉協議会の運営費補助及び同協議会定款に定める事業についての支援を行う。認知高齢者や一人暮らしの高齢者が増加する中、判断能力が不十分な方が地域で安心して生活できるような相談体制や成年後見制度等の利用を支援する体制を構築する。また、今後のニーズ増加に対応するため、市民後見人が適切に活動していくための支援体制を構築する。	当該年度執行計画	社会福祉協議会運営費及び同協議会定款に定める事業についての支援を行う。職員人件費と一部事業について補助する。後見支援センター事業は、後見専門員配置に伴う人件費についての支援を行う。						
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)		指標種類	指標		単位	事業	想定値	実績値	
当該年度	効率的、安定的な地域福祉活動の推進		直接	社会福祉協議会のボランティア登録者数		事業		6,569	8,000	
令和4年度	効率的、安定的な地域福祉活動の推進		直接	社会福祉協議会のボランティア登録者数		事業			8,000	
令和5年度	効率的、安定的な地域福祉活動の推進		直接	社会福祉協議会のボランティア登録者数		事業			8,200	
(7) 事業実施上の課題と対応	「第5次地域福祉活動計画」の基本理念である「安心とゆとりの健康福祉都市あびこ」を実現するため、地域「見守り活動」「世代間交流」を一層促進させる。また、社会福祉協議会の財政基盤の充実と活動拠点の整備の支援を行う。		代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
		社会福祉協議会補助金 後見支援センター運営費補助金 社会福祉協議会出捐金(7月補正)	110,077 3,280 10,000		社会福祉協議会補助金 後見支援センター運営費補助金	106,823 3,280		社会福祉協議会補助金 後見支援センター運営費補助金	109,823 3,280	
	予算(決算)額	合計	123,357	合計	110,103	100,520	合計	113,103	合計	116,103
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
	起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	
	一般財源		123,357		110,103		113,103		116,103	
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.03		0.03		0.03		0.03	
	正職員人件費		261		267		267		267	
	嘱託職員報酬額		0		0		0		0	
	臨時職員賃金額		0		0		0		0	
	事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		123,618		110,370		113,370		116,370	
(11) 単位費用	事業費/活動結果指標		6,867.67千円/事業	6,131.67千円/事業		5,599.28				

2. 事業の評価 (DO+CHECK)																	
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討								
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	地域住民の福祉に対する考え方を深め、地域で支えあう福祉を充実させるため、障害の有無や年齢、性別などに関わらず全ての人が住みなれた地域や家庭で、共に生きるノーマライゼーションの考え方を前提とした社会づくりが必要になっている。我孫子市社会福祉協議会は、本市における社会福祉事業の能率的運営と地域社会福祉の増進を図るために設立された社会福祉法人であり、その事業運営の財政的基盤を支援することは、ノーマライゼーションの推進に寄与するものである。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 支援を行うことで財政基盤が確保され、安定した地域福祉政策を実施することができた。				○要 ●不要								
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他 ○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他 <その他の内容>				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 社会福祉協議会は、自主財源を確保する努力はしているが、十分ではなく、運営費の一部について市が補助している。社会福祉協議会の健全な運営は、地域福祉のために欠かせないものであり、補助については、十分な公益性が認められているものである。				○要 ●不要				
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ●④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>				実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容) 地域福祉活動において市民と協同して行った。				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>				○要 ●不要				
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				取組む内容 補助に係る事業において各種ボランティアとして連携している。				実施した具体的な内容 該当なし。				環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>				○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(事業)	目標値(b)(事業)	目標値の妥当性のチェック ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況	実績値(f)(事業)	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成 ●②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> ボランティア登録数の減少によるため。		○要 ●不要							
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減 事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実施状況	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要							
(3) 目標値を実現するために投じた事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> ボランティア登録数の減少によるため。		○要 ●不要							

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しになる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1385), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など).

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1387), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a comment field and improvement directions.



事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1388), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1389	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 地域福祉活動支援 個別事業 福祉バス運行	実施計画への位置づけ	○有 ●無	②部課名	健康福祉部・社会福祉課								
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 ■新木 □布佐 ■全市										
	⑤事業期間	~	⑥担当職員数	1人 (換算人数)	0.04人									
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初) 14,052千円 (うち人件費 356千円)										
	⑧施策の位置づけ	施策コード 32001	重点プロジェクトへの位置づけ	重点5	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)						
(2) 目的	施策目的・展開方向	地域で共に支え合えるよう、共助意識の啓発や自治会・まちづくり協議会との連携の強化など、地域の人々自らが地域福祉の担い手となるための取り組みを進めます。また、社会福祉協議会との結びつきを強化して、地域の相談窓口の役割を担う民生委員・児童委員の育成とその確保を図ります。			事業目的	障害者や高齢者の外出支援や社会参加への支援、市民の社会福祉活動への支援								
(3) 事業内容	内容	障害者や高齢者の外出支援や社会参加のために役立ててもらおう。また、市民団体等に福祉バスを利用してもらう。研修などの地域福祉活動に役立ててもらおう。26年度より日曜、祝日もバスの貸し出しを行う。市の各事業へのバスの貸し出し。平成26年4月1日より国のバス料金の改訂があり予算額が増加となっている。平成28年度より10月、11月は、優先予約事業を制限し一般市民用に開放した。平成30年度より大型バスに加え、中型バスの貸し出しも可能となった。(1日につき、どちらか1台を貸出可能) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が終息していない場合、利用人数の制限や利用者にはマスク着用			当該年度執行計画	(随時処理) ・福祉バス利用申請書の受付 ・福祉バス利用決定通知書の送付 ・福祉バス運行計画書の送付								
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	福祉バスを利用団体に適正に貸し出す。	指標種類	指標	単位	%	想定値	20	実績値	18				
当該年度	福祉バスを利用団体に適正に貸し出す。	間接	福祉バスの使用率	%	18	20								
令和4年度	福祉バスを利用団体に適正に貸し出す。	間接	福祉バスの使用率	%	50									
令和5年度	福祉バスを利用団体に適正に貸し出す。	間接	福祉バスの使用率	%	55									
(7) 事業実施上の課題と対応	高齢者や障害者の外出支援及び社会参加促進をはじめに、地域福祉の向上につながる活動を行う団体の活動支援を引き続き行っていく。ホームページ等を通して適正利用に関する周知を行いながら運行管理をしていく。新型コロナウイルス感染症が終息していない場合、利用団体を増やすため1日バス2台使用等対策を講じていく。			代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		バス借上げ料 時間制運賃 11,132,000円 大型(5,450円×1,100時間×1.1) 中型(5,000円×825時間×1.1) キロ制運賃 3,622,300円 大型(140円×14,770km×1.1) 中型(120円×10,210km×1.1) パートタイム会計年度任用職員(事務補佐員)報酬0.5人交通費含む 期末手当 社会保険、厚生年金保険料等	14,755	バス借上げ料 時間制運賃 9691000円 大型(6,300円×800時間×1.1) 中型(5,800円×650時間×1.1) キロ制運賃 2873200円 大型(140円×10300km×1.1) 中型(130円×9,000×10km×1.1) パートタイム会計年度任用職員(事務補佐員)報酬0.5人交通費含む 期末手当 社会保険、厚生年金保険料等	12,565	5,349	バス借上げ料 時間制運賃 11,132,000円 大型(5,450円×1,100時間×1.1) 中型(5,000円×825時間×1.1) キロ制運賃 3,622,300円 大型(140円×14,770km×1.1) 中型(120円×10,210km×1.1) パートタイム会計年度任用職員(事務補佐員)報酬0.5人交通費含む 期末手当 社会保険、厚生年金保険料等	14,755	バス借上げ料 時間制運賃 11,132,000円 大型(5,450円×1,100時間×1.1) 中型(5,000円×825時間×1.1) キロ制運賃 3,622,300円 大型(140円×14,770km×1.1) 中型(120円×10,210km×1.1) パートタイム会計年度任用職員(事務補佐員)報酬0.5人交通費含む 期末手当 社会保険、厚生年金保険料等	14,755				
		852	882	882	882	882	882	882						
		59 156	93 156	93 156	93 156	93 156	93 156	93 156						
予算(決算)額	合計	15,822	合計	13,696	6,480	合計	15,886	合計	15,886					
(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
県支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0					
起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	0	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0					
一般財源	15,822	13,696	6,480	15,886										
その他の財源 □特会 □受益 □基金 □その他	0	0	0	0										
(10) 人件費等	換算人数(人) 0.03	0.04	0.04	0.11										
正職員人件費 261	356	356	979											
嘱託職員報酬額 0	0	0	1,057											
臨時職員賃金額 0	0	0	0											
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	16,083	14,052	6,836	16,865										
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	303.45千円/%	702.6千円/%	379.78											

2. 事業の評価 (DO+CHECK)											
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討		
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	福祉バスは、高齢者団体や障害者団体の外出支援や社会参加のために必要である。また、市民活動団体の研修や視察などに福祉バスを利用していたことにより、地域福祉活動を活性化させている。市役所の各課の事業実施にも福祉バスを利用している。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要		
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ■④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容 ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 市民が福祉バスを利用することにより、地域福祉活動が活性化している。				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				参加・協働の程度・内容 ○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>	○要 ●不要	
環境への配慮	配慮の視点 □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> アイドリグストップを推奨している。				実施した具体的な内容				環境への配慮 ●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>	○要 ●不要	
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (%)	目標値(b) (%)	目標値の妥当性のチェック □①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況	実績値(f) (%)	達成率(%) (f/b×100)	●①目標値達成 ○②目標値未達成 <目標を達成した理由/未達成となった原因> 新型コロナウイルス感染症拡大により、利用者が減少したが、予測の範囲内であった。		○要 ●不要	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	実施予定の対策 □①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託 <削減の内容>		実施状況	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100	●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法 ●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		達成状況	実績値(h)	対目標値(%) (h/e) × 100	●①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下 <目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 新型コロナウイルス感染症拡大により、利用者が減少したが、予測の範囲内であった。			○要 ●不要

3. 事後評価									
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価	事務事業の見直しになる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。	改善策及び展開方向	令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
----	--	-----------	--------------------------------

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1390), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed table for (9) 財源内訳.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1391	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	------	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)											
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 社会援護の充実 個別事業 被災者援護	実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	～	⑥担当職員数	2人 (換算人数)		0.16人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費 0千円	当該(開始)年度	(当初)	1,538千円 (うち人件費 1,424千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード 34004	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 部門別計画への位置づけ (計画名)				
(2) 目的	施策目的・展開方向	経済的な手助けを必要とする市民の早期自立を促進するため、生活に関する相談支援体制の充実を図るとともに、学習支援等の自立支援事業を効果的に実施していきます。			事業目的	災害(災害救助法が適用される災害を除く)により死亡した市民並びに災害を受けた市民及び法人に対し市として支援することにより福祉の向上に資することを目的とする。					
(3) 事業内容	内容	・市内で災害(災害救助法が適用される災害を除く)により被災した市民及び法人に対し災害見舞金を支給する。 ・市内で災害(災害救助法が適用される災害を除く)により自ら居住する住宅を失った市民のうち、宿泊する場所を確保できない被災者に対して応急的に宿泊所の提供をする。			当該年度執行計画	(随時処理) ○災害の程度(全焼・全壊・半焼・半壊・床上浸水、死亡)により災害見舞金額を決定し支給する。 ○市内の宿泊施設の提供をする。					
		当該年度活動結果指標	被災者見舞金支給率		単位	%	想定値	100			
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値		
当該年度	被災者の状況に応じて迅速な支給、対応をする。			直接	被災者に対して見舞金の支給率		%	100	100		
令和4年度	被災者の状況に応じて迅速な支給、対応をする。			直接	被災者に対して見舞金の支給率		%		100		
令和5年度	被災者の状況に応じて迅速な支給、対応をする。			直接	被災者に対して見舞金の支給率		%		100		
(7) 事業実施上の課題と対応	被災者に対しては1日も早く以前の生活を取り戻してもらうため、災害発生後における迅速な対応が求められる。			代替案検討	○有 ●無						
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		被災者援護事業 ・見舞金支給 ・宿泊所提供	80 34	被災者援護事業 ・見舞金支給 ・宿泊所提供	80 34	被災者援護事業 ・見舞金支給 ・宿泊所提供	80 34	被災者援護事業 ・見舞金支給 ・宿泊所提供	80 34	被災者援護事業 ・見舞金支給 ・宿泊所提供	80 34
		予算(決算)額	合計	114	合計	114	合計	114	合計	114	
		国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
(9) 財源内訳	国庫支出金 補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	
起債 充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0		
一般財源	114	114	474	114	474	114	114	114	114		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.16	0.16	0.16	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11		
正職員人件費	1,392	1,424	1,424	979	979	979	979	979	979		
嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
臨時職員賃金額	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,506	1,538	1,898	1,093	1,093	1,093	1,093	1,093	1,093		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	15.06千円/%		15.38千円/%		18.98						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)												
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討			
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	被災者は災害によって住居や財産を失っている人が多く、1日も早く安定した生活を取り戻すためにも災害見舞金の支給や宿泊所の提供は必要不可欠である。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要			
	○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 ●②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される ■市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他				<その他の内容> □①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された ■⑦その他 <その他の内容> 見舞金の支給、応急的な宿泊所の提供、市が被災者を支援することで、被災者が安定した生活を取り戻すことができる。				<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 見舞金の支給、応急的な宿泊所の提供することで被災者が安定した生活を取り戻せることができる。			
参加・協働の工夫	参加・協働の内容				実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)				改善検討			
	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり) ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 日赤事業との連携				工夫の具体的な内容				○要 ●不要			
環境への配慮	配慮の視点				実施した具体的な内容				改善検討			
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし				環境への配慮				○要 ●不要			
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成					
	100	100	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 被災者に対して見舞金を支給することができた。					
					100	100						
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ●③想定事業費超過					
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現有体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ○①事前の想定どおり ●②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因> 被災された市民が見込みより多く発生したため。					
	1,538	△32	<削減の内容>		1,898	123.41						
事業費削減率(%)		△2.12		<超過理由等> 被災された市民が見込みより多く発生したため								
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ●③目標値以下					
	6.5		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因> 被災者数が当初予算より増えたため、事業費が増えたことから目標値に差異が生じた。					
			%	10万円	5.27	81.08						

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しになる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1392), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1393), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1394), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including objectives, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status table and a comment table.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1395), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for future improvements and conclusions.



事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1396	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)													
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	福祉有償運送運営協議会事業		実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市							
	⑤事業期間	～			⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.2人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	1,794千円 (うち人件費 1,780千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	33203	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ	(計画名)			
(2) 目的	施策目的・展開方向	高齢者が生きがいを持って充実した生活を送ることができるよう、身近な地域で住民との交流ができる場やボランティア活動、NPO法人などによる市民公益活動、就労の機会の確保に努め、社会参加の機会と場の充実を図ります。			事業目的	福祉有償運送事業実施の登録を行うに必要となる「市町村長が主催する協議会における協議」を開催する。タクシー等による輸送サービスを補完する移動制約者の輸送の確保のために、協議会において福祉有償運送を行うために必要となる事項について、地域の関係者及び運輸支局等との協議を行う。							
(3) 事業内容	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内のタクシー等の公共交通機関によっては要介護者、身体障害者等に対する十分な輸送サービスが確保できないと認められる場合に、NPO法人等が有償で移送するサービスを実施することができるよう、市が主体となり福祉有償運送運営協議会を設置し運営する。</li> <li>協議会は、福祉有償運送サービスの利用者・介護者、関係する市民団体・ボランティア団体、タクシー事業者、千葉運輸支局職員、市職員の10名で構成する。</li> <li>協議会では、福祉有償運送の必要性や、条件としての運送主体、運送対象、運送の対価等について協議する。</li> </ul>			当該年度執行計画	福祉有償運送事業所登録数							
		当該年度活動結果指標	福祉有償運送事業所登録数	単位	団体	想定値	6	実績値	6				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	福祉有償運送運営協議会を開催する				間接	福祉有償運送事業所登録数		団体	6	6			
令和4年度	福祉有償運送運営協議会を開催する				間接	福祉有償運送事業所における無事故率		%		100			
令和5年度	福祉有償運送運営協議会を開催する				間接	福祉有償運送事業所における無事故率		%		100			
(7) 事業実施上の課題と対応	高齢や障害などの理由により移動が困難になった方を有償で移送するサービスであるため、対象者を把握している所管課での対応が期待される。				代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度					
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)			
		委員報酬費 2,000円(1回)×7名×2回		28	委員報酬費 2,000円(1回)×7名×1回		14	委員報酬費 2,000円(1回)×7名×1回		14	委員報酬費 2,000円(1回)×7名×1回		14
		予算(決算)額	合計	28	合計	14	0	合計	14	合計	14		
		国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0
(10) 人件費等	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0
	一般財源		28		14		14		14		14		
	その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	
	換算人数(人)		0.05		0.2		0.2		0.2		0.2		
	正職員人件費		435		1,780		1,780		1,780		1,780		
嘱託職員報酬額		0		0		0		0		0			
臨時職員賃金額		0		0		0		0		0			
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		463		1,794		1,780		1,794		1,794			
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		77.17千円/団体		299千円/団体		296.67							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	道路運送法施行規則第51条で定める「福祉有償運送」について事業実施の登録を行うためには、市町村長が主催する協議会において協議が必要であることが施行規則第51条の7で定められているため、本事業は必要である。また、高齢による移動困難者の外出支援の充実が強く求められている中、タクシー等による輸送サービスを補完する移動制約者の輸送の確保のために、協議会において福祉有償運送を行うために必要となる事項について、地域の関係者及び運輸支局等との協議を行う必要がある。				<ul style="list-style-type: none"> <li>●①事前確認での想定どおり</li> <li>○②事前確認での想定どおりでなかった</li> </ul>				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他</li> <li>○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他</li> </ul>		<その他の内容>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった</li> <li>□②市が主導で進めなければ実効性がなかった</li> <li>□③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された</li> <li>□④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した</li> <li>□⑤サービス水準が確保された</li> <li>□⑥サービスの安定供給基盤が確保された</li> <li>□⑦その他</li> </ul>			
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○①事業計画時に市民の参画有り</li> <li>●②事業実施時に市民の参画有り</li> <li>○③管理・運営に市民の参画有り</li> <li>○④市民の自主的な活動と連携している</li> <li>○⑤市民と共同で事業を実施</li> <li>○⑥その他</li> </ul>		福祉有償運送協議会委員の委嘱を受けた市民が協議会に参加している。		利用者及びその家族の方や福祉団体の方を委員として委嘱している。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○①当初期待した以上</li> <li>●②当初期待したとおり</li> <li>○③当初の期待以下</li> </ul>		○要 ●不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□①自然環境を生かしている</li> <li>□②生き物と共存している</li> <li>□③手賀沼を意識している</li> <li>□④環境負荷低減に貢献している</li> <li>■⑤その他</li> </ul>				該当なし。		<ul style="list-style-type: none"> <li>●①想定どおり</li> <li>○②想定どおりでなかった</li> </ul>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(団体)	目標値(b)(団体)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		達成率(%)		○要 ●不要
	6	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>□①客観的なデータ・事実に基づき設定している</li> <li>■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない</li> <li>□③現況値との差が小さい値ではない</li> <li>□④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である</li> </ul>		6		100		○要 ●不要
					達成理由等		高年齢者、障害者にとって有効な交通手段となっており、市民ニーズはあるため。		○要 ●不要
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>□①国・県助成制度活用</li> <li>■②現行体制での対応</li> <li>□③維持管理費の削減策の実施</li> <li>□④民間委託</li> <li>□⑤PFI等民間資本の活用</li> <li>□⑥受益者負担</li> <li>□⑦その他</li> </ul>		1,780		99.22		○要 ●不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>		<想定どおり削減できなかった原因>		○要 ●不要
△287.47								○要 ●不要	
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		達成率(%)		○要 ●不要
	0.33	0.33	<ul style="list-style-type: none"> <li>●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費</li> <li>○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費</li> </ul>		0.34		103.03		○要 ●不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しによる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善案及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1400), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details for fiscal year 2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency, including a table for target setting and achievement.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.) and a comment field.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1401), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2020-2024.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a comment about the transition to a combined approach from FY2024.

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード 1402 課コード 0501 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要: ①事業名, ③事業主体, ⑤事業期間, ⑦事業費, ⑧施策の位置づけ
(2) 目的: 施策目的・展開方向, 事業目的
(3) 事業内容: 内容, 当該年度執行計画, 当該年度活動結果指標
(4) 達成目標 (期待する成果): 達成目標 (期待する成果), 指標種類, 指標, 単位, (5) 現況値, (6) 目標値
(7) 事業実施上の課題と対応: 代替案検討
(8) 施行事項: 令和2年度, 令和3年度, 令和4年度, 令和5年度
(9) 財源内訳: 国庫支出金, 県支出金, 起債, 一般財源, その他の財源
(10) 人件費等: 換算人数, 正職員人件費, 嘱託職員報酬額, 臨時職員賃金額
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)), 改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は? (事業の必要性)
(2) 市が実施する必要性はあるか? (市実施の必要性)
参加・協働の工夫: 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (体制づくり)
環境への配慮: 環境に配慮して事業を進めているか?
(1) 目標設定は適切か?
(2) 事業費削減の工夫をしているか?
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か? (目標対費用)

3. 事後評価

○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)
評価コメント: 事務事業の見直しになる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。
改善案及び展開方向: 令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。

事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1404	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし
-------	------	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 中国残留邦人への自立支援 個別事業 中国残留邦人生活支援給付事務	実施計画への位置づけ		●有 ○無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課				
	③事業主体	●市 ○その他 ( )		④対象地区	<input type="checkbox"/> 我孫子 <input type="checkbox"/> 天王台 <input type="checkbox"/> 湖北 <input type="checkbox"/> 新木 <input type="checkbox"/> 布佐 <input checked="" type="checkbox"/> 全市							
	⑤事業期間	～		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.3人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	17,866千円 (うち人件費 2,670千円)		(変更後)	千円 (うち人件費 千円)		
	⑧施策の位置づけ	施策コード	34004	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	経済的な手助けを必要とする市民の早期自立を促進するため、生活に関する相談支援体制の充実を図るとともに、学習支援等の自立支援事業を効果的に実施していきます。			事業目的	中国残留邦人等と、長年にわたり労苦を共にしてきた特定配偶者の置かれている特別の事情に鑑み、中国残留邦人等の円滑な帰国を促進するとともに、永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援を行います						
(3) 事業内容	内容	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律に基づき、中国残留邦人等に対しその困窮の程度に応じ法の定める保護基準に満たない部分を金銭または現物により支給する。 (支給給付の種類) 生活・住宅・教育・介護・医療・出産・生業・葬祭・保護施設事務費 医療扶助業務におけるレセプトのデータ化により、医療費統計の作成、分析を行いレセプト点検も画面上で行う。			当該年度執行計画	毎月の作業として 月末に、翌月分支援費の支給 10日前後に、医療支援費、介護支援費の支払い 月末に、医療券及び介護券を医療機関、介護機関へ送付						
		当該年度活動結果指標	中国残留邦人等支援事業の対象世帯数		単位	世帯	想定値	4		実績値	4	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値			
当該年度	中国生活支援費の適正かつ的確な支給			直接	中国生活支援費支給世帯数 (実際支給した世帯/支給すべき世帯)		世帯	4	4			
令和4年度	中国生活支援費の適正かつ的確な支給			直接	中国生活支援費支給世帯数 (実際支給した世帯/支給すべき世帯)		世帯		4			
令和5年度	中国生活支援費の適正かつ的確な支給			直接	中国生活支援費支給世帯数 (実際支給した世帯/支給すべき世帯)		世帯		4			
(7) 事業実施上の課題と対応	中国等に残留を余儀なくされ、帰国後も日本の義務教育を受ける機会がなく日本語が不自由な方や、帰国後も懸命な努力を続けられましたが老後の準備が十分できず、また、言葉が不自由なため、地域にもとけられない方など、それぞれの事情にあった支援を行っていくことが重要である。			代替案検討	○有 ●無							
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			中国残留邦人支援給付費	9,780		中国残留邦人支援給付費 (9月補正)	7,516 7,680	13,338			中国残留邦人支援給付費	7,516
		予算(決算)額	合計	9,780	合計	15,196	13,338	合計	7,516	合計	7,516	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	75%	7,463	補助率	75%	11,526	0	補助率	75%	5,766	
	県支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	0	補助率	0%	0	
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	0	充当率	0%	0	
	一般財源			2,317			3,670	13,338			1,750	
その他の財源	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	0	<input type="checkbox"/> 特会 <input type="checkbox"/> 受益 <input type="checkbox"/> 基金 <input type="checkbox"/> その他		0	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)		0.3		0.3	0.3		0.2		0		
	正職員人件費		2,610		2,670	2,670		1,780		0		
	嘱託職員報酬額		0		0	0		0		0		
	臨時職員賃金額		0		0	0		0		0		
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)			12,390		17,866	16,008		9,296		7,516		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)			3,097.5千円/世帯		4,466.5千円/世帯	4,002						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律に基づき、これまで様々な対策が行われてきたところであるが、経済情勢の変化に対応し、支援の内容も変化を必要とする。そのため、一世帯ごとに担当の支援員を配置し、それぞれの事情に合った支援を継続する。また、医療扶助においては、中国残留邦人等のレセプトをデータで取込・管理をし、医療費統計の作成、分析などを行う。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 法定受託事業であるため。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) <input checked="" type="checkbox"/> 法令等で市が実施することが定められている <input type="checkbox"/> 提供主体が市しかない <input type="checkbox"/> その他		<その他の内容>		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった <input checked="" type="checkbox"/> 市が主導で進めなければ実効性がなかった <input type="checkbox"/> 市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された <input type="checkbox"/> 市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した <input type="checkbox"/> サービスの水準が確保された <input type="checkbox"/> サービスの安定供給基盤が確保された <input type="checkbox"/> その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 法定受託事業であるため。	
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他		<その他の内容> 該当なし				○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他		<その他の内容> 該当なし				●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (世帯)	目標値(b) (世帯)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	4	4	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (世帯)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 世帯数は、想定どおりであった。		
					4	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		●①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	■①国・県助成制度活用 <input type="checkbox"/> ⑤PFI等民間資本の活用 □②現有体制での対応 <input type="checkbox"/> ⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 <input type="checkbox"/> ⑦その他 □④民間委託		実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
	17,866	△5,476	<削減の内容>		16,008	89.6	<超過理由等> 年度途中で1名入院したため、増額補正をしたが、想定より医療費が少額だったため。		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	0.02		単位	費用単位	実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
			●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	0.02	100				

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ●結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	事務事業の見直しになる結合。令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。				改善策及び展開方向					
					令和4年度からは結合後の事務事業の中で一体的に推進していく。					

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1405), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for various criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1406), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for 2021-2025.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性, and (6) 事後評価.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (1407), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns for current status and evaluation comments.



事務事業評価表（令和3年度）

事業コード	1645	課コード	0501	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	------	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)												
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 自殺対策事業の進行管理	実施計画への位置づけ	○有 ○無		②部課名	健康福祉部・社会福祉課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )	④対象地区	○我孫子 ○天王台 ○湖北 ○新木 ○布佐 ●全市								
	⑤事業期間	令和3年度～		⑥担当職員数	3人 (換算人数)		0.51人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初)	4,833千円 (うち人件費 4,539千円)						
	⑧施策の位置づけ	施策コード	34004	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無				
(2) 目的	施策目的・展開方向	経済的な手助けを必要とする市民の早期自立を促進するため、生活に関する相談支援体制の充実を図るとともに、学習支援等の自立支援事業を効果的に実施していきます。			事業目的	自殺対策基本法及び自殺総合対策大綱の趣旨を踏まえ、策定した我孫子市のちを支え合う自殺対策計画(平成31年度より5か年計画)に基づき、社会福祉課が事務局として、関係機関や庁内関係課と自殺防止事業の横断的な連携を図り、自殺者の減少を目指す。						
(3) 事業内容	内容	(1) 自殺対策協議会を開催し、関係機関との連携と情報の共有化を行う。 (2) 自殺対策庁内連絡会議を通じ、地域の自殺の現状や自殺対策事業について情報の共有化を図る。 また、自殺対策事業の進行管理や情報提供など調整を行う。 (3) ゲートキーパー(命の番人)研修や啓発用物品の作成・配布等、自殺予防に関する啓発活動を行う。 【政策】我孫子市のちを支え合う自殺対策計画で掲げた、みんながゲートキーパーのまち「我孫子」を目指すため、ゲートキーパー養成研修(希死念慮や自殺企図を抱えた方の心理状況や対処法等の自殺予防の知識を深める。講師は企業や団体でのカウンセラー等)を職員講師に切替え出前講座を実施するとともに、自殺者数が増加傾向にあるため啓発・周知の強化を図ります。			当該年度執行計画	(1) 自殺対策協議会による計画の進行管理 (2) 自殺対策庁内連絡会議による横断的な関係部署との連携強化 (3) 自殺対策に関する啓発活動 ・ゲートキーパー養成研修を実施する。 ・啓発用印刷物を各種講演会で配布及び公共機関窓口等に設置する。						
		当該年度活動結果指標	ゲートキーパー研修会の開催回数	単位	回	想定値	2					
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類		指標	単位	(5) 現況値	(6) 目標値					
当該年度	ハイリスク者の身近な人や行政窓口全体で、ゲートキーパーの役割を果たせるように、啓発や研修会などを実施する。	直接	研修会等に参加して、自殺予防(対策)に関する知識を高めた人の割合(%)	%		100	95					
令和4年度	ハイリスク者の身近な人や行政窓口全体で、ゲートキーパーの役割を果たせるように、啓発や研修会などを実施する。	直接	研修会等に参加して、自殺予防(対策)に関する知識を高めた人の割合(%)	%			100					
令和5年度	我孫子市の自殺死亡率(人口10万人あたりの自殺者数)の減少	直接	自殺死亡率の16.8(2014年～2016年の平均)から14.3(2020年～2022年)へ減少					14.3				
(7) 事業実施上の課題と対応	自殺に至る原因・動機は様々で複合的な要因が存在するため、それぞれの要因に応じた関係各課で対処する必要がある。市民・職員一人ひとりが「ゲートキーパー」として力を発揮できるよう、自殺予防対策を自らの問題・業務として受け止める意識を持つことが重要である。	代替案検討	○有 ●無									
(8) 施行事項	実施内容 費用	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度				
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	
			自殺対策計画の進行管理 自殺対策協議会委員報酬費 会議等旅費 啓発用パンフレット等印刷製本費(補助対)	56 5 161		自殺対策計画の進行管理 自殺対策協議会委員報酬費 会議等旅費 啓発用パンフレット等印刷製本費(補助対)	28 5 195		21 2 181		自殺対策計画の進行管理 自殺対策協議会委員報酬費 会議等旅費 啓発用パンフレット等印刷製本費(補助対)	28 5 195
			*【政策費】 *ゲートキーパー養成研修 講師謝礼(補助対) *50,000円×2回 *職員研修2回  (政策費に係る歳入 千葉県地域自殺対策強化事業費補助金 150千円×(1/2)=75千円)	100 0		*【政策費】 *自殺対策啓発消耗品  (政策費に係る歳入) 千葉県地域自殺対策強化事業費補助金 66千円×(1/2)=33千円)	66		52		*【政策費】 *自殺対策啓発消耗品  (政策費に係る歳入) 千葉県地域自殺対策強化事業費補助金 66千円×(1/2)=33千円)	66
		予算(決算)額	合計	322		合計	294		256		合計	294
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	0	補助率	0%	0	補助率	0%	0		
	県支出金	補助率	50%	155	補助率	50%	155	補助率	50%	155		
	起債	充当率	0%	0	充当率	0%	0	充当率	0%	0		
	一般財源	充当率	0%	167	充当率	0%	139	充当率	0%	294		
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.16	0.51	0.51	0.2							
	正職員人件費	1,392	4,539	4,539	1,780							
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0							
	臨時職員賃金額	0	0	0	0							
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)	1,714	4,833	4,795	2,074								
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	342.8千円/回	2,416.5千円/回	2,397.5									

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	国の「自殺対策基本法」及び「自殺総合対策大綱」の趣旨を踏まえ、総合的な自殺対策を推進するために、市の既存事業を最大限に活用し、生きることの包括的な支援(自殺対策)とする「我孫子市のちを支え合う自殺対策計画～みんながゲートキーパーのまち「我孫子」を目指して～」を平成30年度に策定しました。計画では、自殺予防において家庭、地域、学校、職場等、様々な場で、「いつもと違う」様子に気づき、必要に応じて専門機関等へつなぐ「ゲートキーパー」の役割が重要とし、早期の段階で困っている人に気づく身近な支援者を増やし、様々な分野の人々や組織が密接に連携し、かけがえのない命を支え合う取り組みを行うこととしています。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他 <その他の内容>				■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ○②市が主導で進めなければ実効性がなかった ○③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された ○④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した ○⑤サービス水準が確保された ○⑥サービスの安定供給基盤が確保された ○⑦その他 <その他の内容>				○要 ●不要
市民の参加や市民との協働を工夫しているか？(体制づくり)	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		改善検討
	○①事業計画時に市民の参画有り ●②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 <その他の内容>		医療関係者、民間相談事業所より委員の委嘱を行っている。		我孫子市自殺対策協議会において、市内関係機関の職員等に委員を委嘱し、協議会を開催することにより、関係機関の連携強化を図ることができた。		○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ●不要
環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		改善検討
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし。				該当なし。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ●不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	95	□①客観的なデータ・事実に基づき設定している ■②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 参加者が知識を深める研修会を開催することができたため。		
					100	105.26			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	事業費の削減対策について ●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>		
	4,833	△3,119	<削減の内容>		4,795	99.21	<超過理由等>		
事業費削減率(%)		△181.97							
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	1.97		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		
					2.09	106.09			

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	「我孫子市のちを支えあう自殺対策計画」に基づき、事業の推進及び関係機関の連携強化を図るとともに、早期の段階で困っている人に気づく身近な支援者を増やすことが生きることを支える地域づくりに繋がるため、今後も引き続き推進していく。	改善策及び展開方向
--------	--	-----------

事務事業評価表(令和3年度)

Header table with columns: 事業コード (1958), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a progress status table.

Final evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2047), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Main project details including purpose, content, budget, and performance indicators.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など)

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2103), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討

3. 事後評価 - Post-evaluation section header

Post-evaluation table with columns: 現状どおり推進, 評価コメント, 改善策及び展開方向

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2260), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including implementation status and improvement directions.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2263), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Summary table for post-evaluation with columns: 現状どおり推進, 拡充, 縮小, 結合, 休止, 廃止, 事業手法見直し, その他(事業完了など). Includes a comment field for evaluation.

事務事業評価表（令和3年度）

Header table with columns: 事業コード (2265), 課コード (0501), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for overall status and comments.